

つるちゃんとわたし

古堅小学校 二年 四組 いは れん

わたしは、この本をよんでなきました。つるちゃんとわたしは、同じ年なのにつるちゃんは、さいごには一人になるからです。つるちゃんのかぞくはみんなてっぼうやばくだんでうたれてしんでしまいました。

せんそうになるまえ、つるちゃんは、さかなやたから貝となかよくくらしていました。せんそうになったらほらあなやガマ

やおはかの中ににげるせいかつになってしまいました。にげているとちゅうで、しんでしまったかぞくを、ねーねーといっしょにうめました。ねーねーがうめたあと、

「うめたばしよをしっかりおぼえなさいね。」

と言いました。ばしよをおぼえるのは、あとでホネをひろっておはかをつくるからです。

今のわたしのくらしは、あさおきてよるね

るまで、せんそうからにげない生かつです。
おいしいごはんもたべられるし、気もちよい
おふるにも入ることができ、大すきなおかあ
さんともずっといっしょにいられます。同じ
年でもつるちゃんは、とてもつらくてかなし
い七さいをすごしました。わたしの七さいは
へいわな生かつです。

せんそうは、二どとしてほしくないです。
そのために、友だちとなかよく、けんかをせ
ずに毎日たのしくすごしていききたいです。つ
るちゃんやくそくするよ、

「ずっとせんそうのないたのしいよの中に
することを。」